

飯島賢二の

## やさしく解決！ 難問道場

第37回



株式会社 飯島綜研 代表取締役 飯島 賢二

**Q** 事業承継に当たり、後継者へ伝えておくべきことを教えてください。

A

先代死去により事業を承継し、今年で20年目に入る。何年たっても一人前の経営者になりえないでいる自分に、今更ながら情けない思いでいます。誰かの言葉、何かの著作からの引用ではなく、自分自身が19年間で学んだこと、言ってみれば「実業の信念」、そんなものをまとめてみました。中小企業経営者への9つのミッションです。私の後継者に伝えていきたいと思っておりますが、ご参考までにご紹介しましょう。

1. 三つの「つくる」… (1) 仕事を創る (2) 信頼を創る (3) 報酬を創る

従業員のため、家族のため、そして社会へ貢献するため、仕事の指示を待つのでなく自らが「仕事を創る」のが経営者の役割です。その仕事を通して「信頼を創る」のが仕事を創る目的であり、その結果として「報酬」を頂く、これが我々の生活の糧になるのです。「先義後利」の原点がここにあると思っています。

2. 三つの「おもいやり」… (1) 部下へのおもいやり (2) お客様へのおもいやり (3) 家族へのおもいやり

部下・お客様・家族への「思いやり」は、経営者としての最低限の条件、義務です。部下にはパワフルな動きを、お客様には感謝の念を、家族には深い愛情に裏付けられた理解を、それを

自ら実践し、また一緒に行動してもらうことが目指すべき経営像に近づくことだと思っています。言葉では簡単ですが実行は難しいかもしれません。何故なら、いずれも「相手」がいるからです。相手の気持ちを察しない限り、共鳴できない。大変「重い槍」を使って、相手のハートを射止めることが肝心となります。

3. 三つの「やりくり」… (1) 人繰り (2) 時間繰り (3) 資金繰り

前述の三つの「おもいやり」を有効的に実践させるためには、「人」「時間」そして「資金」に余裕を持たなければなりません。それが「人繰り」、「時間繰り」、その結果としての「資金繰り」です。「人」は中小企業経営の最大の財産。その財産をいかにして活性化させるか、それが人繰りです。時間は、1日24時間と決まっています。これをどう効果的、有効的に使いこなすか、本人の時間活用術と言えるでしょう。時には従業員、家族にも理解させる術が必要ですし、健康管理も重要です。そんな中で、いかに時間繰りがうまく出来るかが経営者の資質の差となるでしょう。そして常に先を見越した資金繰り、万全な計画と、いざという時のリスク回避システムの構築、これがあれば「余裕」が持てる筈です。

今後もめげずに、この9つのミッションの完全実践を目指したいと思っています。

**「これからも、ずっと中小企業の強い味方であり続けたい…」**

日本経済を支えている中小企業をあらゆる面からサポートし、ご満足いただく。ここに、当社の存在価値があります。

 **IKG 株式会社 飯島 綜研**

代表取締役社長 飯島 賢二  
税理士・中小企業診断士

〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18 ソシオ熊谷情報センター2F TEL 048-528-2191 FAX 048-528-2197  
IKGホームページ <http://www.ik-g.jp>